

LGBTsの存在を 認識した上での学校教育

Vol.2

先着順受付

2021年 10月29日(金) 15:00-17:00

対象 学校・教育関係者 参加費 無料 形式 オンライン (ZOOM webinar)

15:00 - 16:00

セミナー

宝塚大学 看護学部 教授

日高 庸晴

プロフィール

京都大学大学院医学研究科で博士号(社会健康医学)取得。カリフォルニア大学サンフランシスコ校医学部エイズ予防研究センター、公益財団法人エイズ予防財団リサーチレジデントなどを経て現職。

法務省企画の人権啓発ビデオの監修や、文部科学省が2016年4月に発表した性的指向と性自認に関する教職員向け資料の作成協力、文部科学省幹部職員研修、法務省の国家公務員人権研修、人事院のハラスメント研修などの講師を務め、国や自治体の事業に従事している。



人口の5~8%は存在すると推定されている LGBTをはじめとするセクシュアルマイノリティ(LGBTs: エル・ジー・ビー・ティーズ) に対して教員に理解が求められることについて、2015年以降に3年連続、文部科学省から周知が図られています。

この度の講師である宝塚大学看護学部日高庸晴教授は、1990年代後半からのHIV感染の拡大とその流行に合わせ、ゲイ・バイセクシュアル男性を対象にした行動疫学調査を継続実施しておられます。2016年には約1万5千人の、2019年には約1万1千人のLGBTsを対象にした全国インターネット調査では、LGBTsの当事者はじめ被害・不登校・自傷行為経験率が明らかに高率であることが明らかになっています。

また、同教授が2019年度に実施した全国36自治体の約2.2万人の教員を対象にした調査では、授業の必要性を認識する教員が大半である一方、実際に授業実践をしている教員はわずかでありました。

当日はこれまでに日高教授が蓄積してきた実証データと、教育映像(38分)の視聴を通じて当該集団の現状と課題について考える機会させていただきます。

16:00 - 16:40

DVD上映

教員向け映像教材

LGBTsの子どもの命を守る学校の取組

② 当事者に寄り添うために
～教育現場での落とし穴～



(文部科学省選定)

16:40 - 17:00 質疑応答

Check

※セミナー内容は後日、服育net 研究所会員限定で録画動画配信(期間限定)予定です。
配信視聴ご希望の方は、事前に服育net研究所会員申込みフォームより会員申込をお願いします。

こんな場面に役立ちます

●学校生活の中で
悩みをかかえる生徒への対応を考える時に

●LGBTsについて話す時に
生徒達へLGBTsについて話す時の知識として

●ダイバーシティ(多様性)教育として
ダイバーシティ(多様性)について考える参考に

ZOOM ウェビナーにて開催

- 視聴にはWeb接続できるパソコン、タブレット、スマートフォンなどが必要です。
- 参加費は無料ですが、視聴にあたっての通信費用などはご参加者様のご負担となります。
- セミナー視聴前にZOOMアプリをインストールしておく、当日スムーズに入室できます。(パソコンの場合はwebブラウザ経由でも参加できます)

WEB申込み

定期セミナー申込フォームより
お申し込みをお願いします。

服育 <https://www.fukuiku.net/>

